

科目名 Course Name	証券外務員講座 I Certificate Sales representative lesson I				ナンバリング No.	C1-007	
年次	1 年	期別	前期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	水谷 恒夫						
連絡方法	C-Learning で対応。非常勤講師室。						
必修／選択	選択						
関連 DP	DP1, DP2, DP5						
授業の概要と 到達目標	銀行、証券会社など金融機関で販売している金融商品を案内する業務は証券外務員試験に合格し、金融機関で氏名等を登録することが義務付けられています。さらに社会人として知っておくべき経済・金融の幅広い基礎知識が得られることが、この資格の魅力でもあります。本講座では、二種証券外務員資格の合格を目指します。						
授業の方法	講義形式で行う。授業の中で問題演習にも取り組む。						
学習成果	L01	経済、金融の基本的な知識を習得し、アドバイスや計画を立てることができる。					
	L02	経済、金融の専門的な知識を習得し、アドバイスや計画を立てることができる。					
	L03						
	L04						
課題に対する フィードバック	問題演習は模範解答を示し、各自にフィードバックする。						
教科書／ 参考図書	①2024～2025 証券外務員学習テキスト(一種・二種対応) (株ビジネス教育出版社 発行) ②2024～2025 証券外務員(二種)対策問題集 (株ビジネス教育出版社 発行)						
履修上の留意点 やルール等	C-ラーニングで出席を取るの、遅刻しないように教室に集まること。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。板書を記入するノートと電卓(12 桁推奨)を用意すること。 C-Learning による小テストには提出期限を設ける。期限後提出は採点しない。 授業中はスマートフォン等を使用しないこと。						
担当教員の実務 経験	実務経験(職種:FP 事務所経営 職歴:2009 年～現在に至る)						

成績評価の方法と基準							
評価の領域	評価基準	学習成果の割合					
		L01	L02	L03	L04		
授業参加態度	板書をノートに記入し、スマートフォン等は使用しないこと。						
レポート／作品							
発表							
小テスト	第 10 回目をめどに小テストを行う。評価割合は 40%とする。	20	20				
試験	定期試験の評価割合は 60%とする。	30	30				
その他							
合 計		50	50				

回数		授業計画
1	授業内容	オリエンテーション、証券市場の基礎知識
	事前・事後学習	授業内容に対する問題演習
2	授業内容	株式業務① 取引の種類
	事前・事後学習	授業内容に対する問題演習
3	授業内容	株式業務② 証券投資計算
	事前・事後学習	授業内容に対する問題演習
4	授業内容	債券業務① 債券とその特徴
	事前・事後学習	授業内容に対する問題演習
5	授業内容	債券業務② 債券市況とその変動要因
	事前・事後学習	授業内容に対する問題演習
6	授業内容	債券業務③ 債券の投資計算
	事前・事後学習	授業内容に対する問題演習
7	授業内容	投資信託および投資法人に関する業務① 投資信託の概念、種類
	事前・事後学習	授業内容に対する問題演習
8	授業内容	投資信託および投資法人に関する業務② 証券投資信託の運用、販売
	事前・事後学習	授業内容に対する問題演習
9	授業内容	投資信託および投資法人に関する業務③ 投資法人
	事前・事後学習	授業内容に対する問題演習
10	授業内容	経済・金融・財政の常識①、小テスト 経済
	事前・事後学習	授業内容に対する問題演習
11	授業内容	経済・金融・財政の常識② 金融、財政
	事前・事後学習	授業内容に対する問題演習
12	授業内容	証券税制① 所得税
	事前・事後学習	授業内容に対する問題演習
13	授業内容	証券税制② 特定口座、NISA
	事前・事後学習	授業内容に対する問題演習
14	授業内容	株式会社法概論① 会社の種類と特色
	事前・事後学習	授業内容に対する問題演習
15	授業内容	株式会社法概論② 株式会社の機関
	事前・事後学習	授業内容に対する問題演習